

北陸地方整備局
記者発表・資料配付

・記者発表	平成16年11月17日
・資料配付	15時00分
日時	

件名	「平成16年新潟県中越地震」災害対策状況について(第46報) - 東竹沢地区河道閉塞箇所 ポンプ排水吐出し口における浸食状況とその対策について -
----	---

取り扱い	発表をもって解禁
------	----------

発表先	新潟県政記者クラブ 新県政記者クラブ
-----	-----------------------

発表概要	<b>別紙の通り</b>
------	--------------

問い合わせ先	国土交通省河川局砂防部保全課 保全調整官 寺田秀樹 内線 36202 企画専門官 加藤仁志 内線 36222 代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8469  北陸地方整備局 代表 025-266-1171 河川部河川計画課長 守安邦弘 (内 3611)
--------	---

## 東竹沢地区河道閉塞箇所 ポンプ排水吐出し口における侵食状況とその対策について

平成 16 年 11 月 17 日

河川局砂防部保全課

北陸地方整備局

芋川流域の東竹沢地区の河道閉塞箇所において、現在上流で貯まっている水を、ポンプにより下流に排水しているところです。

9 日より排水を開始し、排水開始当初から、排水によるエネルギーによる小規模な地盤の侵食が見られましたが、一昨日から昨日にかけて、地盤の侵食が大きく促進しました(17 日現在で、侵食の大きさは、長さ約 25m)。

直ちに危険な状況になる可能性は低いと考えられますが、このまま排水を継続した場合、さらに地盤の侵食が進み、河道閉塞の地すべり土塊まで達することも予想されます。

そのため、本日より 1 週間程度を目途に、これ以上の地盤侵食を防ぐため「侵食対策工」を実施致します。概要は以下の通りです。(別添図参照)

- (1)現在のポンプ排水ホース位置を、一時的に移設する。
- (2)移設後、現在侵食が進んでいる箇所の地盤の復元を行う。復元にあたっては、再度侵食を防ぐため、緩勾配の配水管を敷設する。
- (3)地盤の復元後、ホースを元の位置に戻すとともに排水管に接続し、今後は、配水管から排水を実施する。

### 問い合わせ先

国土交通省河川局砂防部保全課 保全調整官 寺田秀樹 内線 36202

企画専門官 加藤仁志 内線 36222

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8469

北陸地方整備局 代表 025-266-1171

河川部河川計画課長 守安邦弘 (内 3611)



